

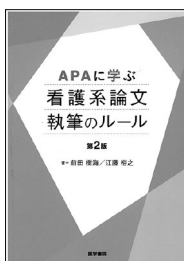
Books of the Month

今月の本

APA に学ぶ看護系論文執筆のルール 第2版

著：前田樹海、江藤裕之
発行：医学書院
定価：1980 円（本体 1800 円＋税 10%）

最新版『APA 論文作成マニュアル』の内容に沿いながらも、日本語での論文執筆や研究発表の準備に必要な事項を厳選し、「基本」「原則」「提言」「例外」に分けてわかりやすく解説する。知りたいことが整理されていて、初めて論文執筆をする人はもちろん、看護学生の卒業研究にも最適なスタートガイドの 1 冊。



ケアシステム 「治し支える医療」を実現する地域包括ケア

編：飯島勝矢、山本則子
発行：東京大学出版会
定価：4400 円（本体 4000 円＋税 10%）

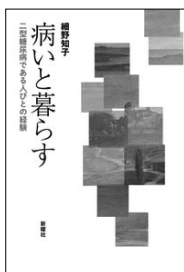
次なるステージへ進むことが求められる地域包括ケアシステム。本書は、先進的で実践的な取り組みを紹介しながら、国や市区町村の取り組み、在宅医療・在宅ケア、多職種の統合など、地域包括ケアを核とした安心なシステムを設計するための多様な視点を明らかにする。さらに、地域包括ケアのこれからの展望と課題を提示する。



病いと暮らす 二型糖尿病である人びとの経験

著：細野知子
発行：新曜社
定価：2530 円（本体 2300 円＋税 10%）

二型糖尿病で入退院を繰り返す人の生活における病いの経験を明らかにするため、6 名の経験を記述。病いとともに生きる人々に寄り添うことで見えてくる日常の実像を丁寧に表現していく。それはともに暮らす人への理解を深めることにもつながる。医療提供者と慢性の病いを抱えた患者の新たな関わり方を探った労作。



看護の証を紡ぐ 「私の看護」を語り描く世界

著：陣田泰子
発行：看護の科学新社
定価：1980 円（本体 1800 円＋税 10%）

10 年以上の時を超えて断続的に続けられてきた、看護師たちとの対話。そこには、めざす看護があるからこそ悩み、自問自答を繰り返す中でつかんでいくエキスパートナース 1 人ひとりの成長の物語があった。看護現場学を提唱し、自らの看護の概念化を通して、1 人ひとりのキャリア形成を支援してきた著者の取り組みの集大成。

